



学校だより

みどりの

9月号

一人一人の笑顔輝くみどりっ子 ~私も大切 あなたも大切~

- 考え伝え合う子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりぬく子

令和8年9月1日

支え合うことの大切さ

校長 大塚 恭子

熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、復旧・復興に尽力されている皆様に、深い敬意と感謝を申し上げます。さらに、この夏、各地で相次いだ豪雨により被災された皆様にも、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

夏休みに飛び込んできた、故郷熊本の地震を知らせる緊急速報。連日報道される被災地の様子に、心を痛めていました。お盆に帰省した折に、熊本城を訪れました。そこには、地震による大きな被害の爪痕が残されていました。一方で、復旧・復興に向けて力を尽くす多くの方々の姿にもふれ、改めて、困難な状況にあっても前を向き、支え合うことの大切さを感じました。

本校では、9月2日にシェイクアウト訓練を実施します。地震は、いつ、どこで起こるかわかりません。いざという時に自分の命を守るためには、日頃からの備えと訓練が大切です。そして、防災について学ぶことは、自分の命だけでなく、周りの人の命を守ることにについて考える機会にもなります。

さて、周りの人と支え合うことの大切さを改めて感じたのが、今年の高校野球でした。第108回全国高等学校野球選手権大会の開会式での選手宣誓が、強く心に残りました。選手宣誓で語られた「いい顔」という言葉を胸に、熱戦に次ぐ熱戦が繰り広げられました。ピンチの際は仲間と支え合いながら乗り越えようとする姿、対戦相手へのリスペクト、そして礼儀正しく、ひたむきにプレーする姿が随所に見られました。まさに、「いい顔」で野球をするという言葉を実践した大会だったと思います。

子どもたちには、一つ一つの小さな困難や壁を乗り越える経験を積み重ねること。そのためには、安心して失敗できる環境をつくることも欠かせません。また、仲間と支え合う喜びや、力を合わせて一つのことを成し遂げる達成感を味わうことも大切です。そして、日々の生活を当たり前と思わず、周囲の人や支えてくれる人への感謝の気持ちをもつこと。これらは、時代が変わっても、人が成長していく上で大切な力だと思います。

こうした学びを大切にしながら、子どもたちの成長を支える教育活動に、教職員一同、取り組んでまいります。保護者・地域の皆様には、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。